

授業科目名 <英訳>		観察研究の統計的方法 Statistical Methods in Observational Studies			担当者所属・ 職名・氏名		医学研究科 教授 佐藤 俊哉				
配当 学年	専門職	単位数	2	開講年度・ 開講期	2015・ 前期集中	曜時限	集中講義	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
[授業の概要・目的]											
<p>臨床研究と疫学研究では様々な観察研究が行われています。臨床試験に代表される実験研究を実施できない状況は数多くあり、観察研究は臨床研究・疫学研究において重要な役割を演じています。しかし、観察研究は実験研究とことなっており、さまざまなバイアスが入りやすく、観察研究に特有の留意すべき事項も多くあります。</p> <p>本コースでは観察研究のデザイン、研究の進め方、統計解析の方法を解説し、観察研究を計画、実施、解析ならびに報告するための統計学の知識を習得することを目標とします。</p>											
[到達目標]											
<ul style="list-style-type: none"> ・バイアスを避けるための研究デザイン上の工夫を理解する ・バイアスを調整するための統計的方法を理解する ・観察研究における回帰モデルと傾向スコアの役割を理解する ・様々な研究デザインによる対象者のサンプリング方法と解析方法を理解する 											
[授業計画と内容]											
集中講義6月6日、13日、20日（土）9:30～17:00（21日のみ18:30終了）											
第1回	6月6日	9:30～11:00	観察研究・疫学研究の概要								
第2回	6月6日	11:15～12:45	観察研究におけるバイアス								
第3回	6月6日	13:45～15:15	重回帰分析								
第4回	6月6日	15:30～17:00	グループワーク1								
第5回	6月13日	9:30～11:00	2×2表の解析								
第6回	6月13日	11:15～12:45	層別解析								
第7回	6月13日	13:45～15:15	ロジスティック回帰								
第8回	6月13日	15:30～17:00	グループワーク2								
第9回	6月20日	9:30～11:00	生存時間解析								
第10回	6月20日	11:15～12:45	標準化と傾向スコア								
第11回	6月20日	13:45～15:15	新しい疫学研究デザイン								
第12回	6月20日	15:30～17:00	グループワーク3								
第13回	6月20日	17:00～18:30	グループワーク4: 発表会								
[履修要件]											
<ul style="list-style-type: none"> ・統計学の基本的な知識（尤度、漸近分散、確率分布、など）を前提とした難しいコースです ・受講希望者は登録前に必ず相談してください ・本コースは大阪大学との共同開催で、大阪大学中之島センターで行います 大阪大学中之島センター http://www.onc.osaka-u.ac.jp/index.php 											
観察研究の統計的方法(2)へ続く ↓ ↓ ↓											

観察研究の統計的方法(2)

[成績評価の方法・観点及び達成度]

レポート

[教科書]

毎回講義資料を配布します

[参考書等]

(参考書)

佐藤俊哉 『宇宙怪人しまりす 医療統計を学ぶ 検定の巻』 (岩波書店) ISBN:978-4-00-029594-9
宮原英夫、丹後俊郎 『医学統計学ハンドブック』 (朝倉書店) ISBN:978-4-254-12099-0
Rothman KJ, Greenland S, Lash TL 『Modern Epidemiology, 3rd ed.』 (Lippincott, Williams & Wilkins)
ISBN:978-0-7817-5564-1

[授業外学習 (予習・復習) 等]

課題を解くこと

(その他 (オフィスアワー等))

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。